

*The Japanese
Society of
Toxicology*

**Vol. 43 No. 2
April 2018**

毒性学ニュース

Toxicology News

一般社団法人日本毒性学会

The Japanese Society of Toxicology

毒性学ニュース

Contents

日本毒性学会からのお知らせ

松澤利明博士 追悼文	11
トキシコロジー第3版(朝倉書店)の刊行について	12
クレジットカードによる会費収納導入のお知らせ	13
社員総会開催のご案内と出欠票(委任状)提出のお願い	14
日本毒性学会教育委員会からのお知らせ(第3報)	15
第21回日本毒性学会基礎教育講習会日程	19
第45回日本毒性学会学術年会のご案内(第5報)	20
第40回日本中毒学会総会・学術集会開催のご案内	23
第45回日本毒性学会学術年会と第40回日本中毒学会学術集会の同時開催について	24
第44回日本毒性学会学術年会要旨集の販売について	25

その他のお知らせ

第25回HAB研究機構学術年会 「人体模倣システムを用いた創薬研究基盤技術の新基軸」	26
---	----

一般社団法人日本毒性学会の定款および規程類について

松澤利明博士 追悼文



松澤さん有難うございました。

日本毒性学会 功労会員 松澤利明さんは、2017年12月24日、埼玉県草加市のご自宅で、奥様、息子様ご家族に見守られながら73歳の生涯を終えられました。松澤さんは、1944年1月、長野県下伊那郡喬木村（たかぎむら）の農家の長男として生まれました。喬木村は、飯田市と天竜川をはさんだ東に広がる河岸段丘の町です。1962年高校進学では、親戚はじめ、周囲からの大学進学を薦められていたのを、農家を継ぐことをかたくなに希望し、長野県立下伊那農業高等学校にすみました。優秀な松澤さんは、引き続き信州大学農学部に入學されました。卒業後は、三共株式会社に入社、10年間中央研究所に勤務されたのち、1978年より山之内製薬株式会社に入社され、安全性研究所（20年）薬事部（4年）他25年間ご勤務され、この間、医薬品開発の第一線としてご活躍されました。

また、1975年には、東京大学農学系大学院より農学博士を授与されております。2004年定年退職をされ、引き続きマリオ研究所を設立され、後輩、関係者の皆様へのご指導をつづけられました。在職中は、医薬品開発の非臨床試験を実施するにあたり、業界活動（日本製薬工業協会：製薬協）にも積極的に参画され、1999年から2002年には医薬品評価委員会基礎研究部会長として、医薬品開発における課題の解決に取り組み、その成果は、活動報告として、毒性学会や関連雑誌へのタイムリーな発表をご指導され、毒性学会は、製薬協活動の発表の場所として、大切

にされておりました。また、同時にICH規制調和国际会議の日本の産業側コーディネーターとして、ICHガイドラインへの調和の専門家会議に参加され、各検討プロジェクトへの的確なご指導をいただきました。

日本毒性学会（JSOT）では2004年まで2期6年にわたり理事を務められ、2002年名古屋で開催された第29回学術年会長を務められました。学術年会長にあたり、前年2001年には、サンフランシスコの米国毒性学会（SOT）に参加され、広い展示ブースのすべてを回り、ご一緒に翌年の第29回学術年会への出展を募集したことを覚えております。この学術年会では、経費の管理も細部に配慮され、また、SOTではそうでしたが、ノーネクタイのカジュアルの服装での参加を、JSOTで最初に提案されたのもこの大会でした。

さらに、実験動物関係では、2002年から2004年に（社）日本実験動物協会の副会長として、技術者教育・倫理に取り組み、2007年から2009年には、ヒューマンサイエンス振興財団が設立した、動物実験第三者評価事業準備委員会委員長として、その設立にご貢献いただきました。

今回の松澤さんの訃報に、多くの皆様からの哀悼のことばと、感謝のお言葉をいただきました。製薬協の事務方でいつもサポートしていただきました女性の方からは、「松澤さんの不機嫌な様子は拝見した記憶が無く、いつも優しい笑顔で対応して下さいました。」と、松澤さんの、お人柄は職場をはじめ、関係する団体の皆様から慕われておりました。生まれ故郷をこよなく愛された松澤さんは、定年退職後は、喬木村のご実家で、農業と共に、創薬へのアイデアを練り、ご指導もしておられました。パーキンソン病が進行し、道半ばで療養を余儀なくされ、ご自宅で13年間病と闘われていたそうです。春の桜の季節には、ご自宅の前の桜並木に、昔の職場のお仲間もあつまり、お花見を楽しんでお見えでした。故郷を愛し、家族を愛し、仲間を愛し、薬づくりに一生をささげた松澤さん。長い間お疲れ様でした。どうぞ、ゆっくりとお休みください。

佐神 文郎

トキシコロジー第3版（朝倉書店）の刊行について

日本毒性学会教育委員会
トキシコロジー第3版編集委員会

日本毒性学会教育委員会では、新版トキシコロジー（2009年刊、朝倉書店）の改訂のために編集委員会を2014年11月に立上げ、改訂作業を行ってきました。この度、以下のとおり出版の運びとなりましたので、学会員の皆さまに連絡します。

書籍名	トキシコロジー第3版
出版社	朝倉書店
出版時期	2018年3月5日
価格	10,000円（税込10,800円）
目次	
	1. 毒性学とは
	2. 毒性発現機序
	3. 動態・代謝
	4. 化学物質の有害作用，安全性評価・管理（案）
	5. 毒性試験法
	6. 標的臓器と毒性発現
	7. 環境毒性
	8. 動物実験代替法
	9. 毒性オミクス
	10. リスクアセスメント，リスクマネジメント
	11. 臨床中毒学
	12. 実験動物
	13. 統計学

改訂のポイント

毒性学の進展に対応し、各章の記述を見直しました。また、ナノマテリアル、光毒性、動物実験代替法等の新しい内容を加えました。

学会員特典

日本毒性学会の会員については、会員特別価格（9,500円）が適用されます。また、購入した会員に特典として電子版を提供いたします。

日本毒性学会のホームページの会員専用ページ（マイページ）にて申し込みを受け付けております。

以上

クレジットカードによる会費収納導入のお知らせ

一般社団法人日本毒性学会
 理事長 永沼 章
 総務委員長 務台 衛

日本毒性学会は、会員の手続きの煩雑さを改善し利便性を高めるため、クレジットカードによる会費収納の導入を決定いたしました。

決済システムの稼働は2018年3月末日を予定しており、2018年度（2018年5月1日～2019年4月30日）分の会費（評議員、一般会員および学生会員）より、WEBからの収納を原則として運用を開始いたします。

会員は、会員専用マイページにログインし、所定の手続きを行なうことによって、年会費のクレジットカード決済が可能となります。

なお、従来どおり郵便振込による会費納入も可能です（振込先口座情報は、マイページのクレジットカード決済画面にてご案内いたしておりますので、そちらをご参照ください）。5月末日までにクレジットカードか郵便振込による会費納入が確認できなかった場合、郵便振込用紙を該当の会員宛に郵送します。

手続きの詳細については、3月に会員一斉メールにてお知らせしたとおりです。

問い合わせ先
 日本毒性学会事務局
 〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1
 パレスサイドビル
 株式会社毎日学術フォーラム内
 TEL：03-6267-4550 FAX：03-6267-4555
 E-mail：jsothq@jsot.jp

社員総会開催のご案内と出欠票（委任状）提出のお願い

一般社団法人 日本毒性学会
社員（一般会員及び学生会員）各位

平素より日本毒性学会の活動、運営にご協力を賜り御礼申し上げます。

定款第4章に定められておりますように「社員総会」を、以下の要領で学術年会期間中に開催いたします。ご承知のとおり、本学会は2014年（平成26年）5月1日に一般社団法人となり、重要な案件は社員総会で決定されます。社員（一般会員及び学生会員）各位におかれましては、ご出席賜りますようご案内申し上げます。

また、ご出席・ご欠席に係わらず「出欠票（委任状）」を、電磁的総会出欠（委任状）回答システムにより事前にご提出下さい。なお、本システムの詳細は、2018年4月中にメール等にてご連絡させていただく予定です。

記

2018年度 一般社団法人日本毒性学会 社員総会
日 時：2018年7月19日（木）午後1時30分～同3時30分
場 所：日本毒性学会学術年会 第1会場（大阪国際会議場）
議 案：1. 2017年度事業報告および収支決算
2. 2018年度事業計画および収支予算
3. その他

以上

社員総会の決議には、定款第24条に定められておりますように、総社員（一般会員及び学生会員）の議決権の「過半数」を有する社員の出席が必要です。定足数に満たない場合は社員総会として成立しなくなり、重要な議決事項が決定できず、本学会の運営に大きな支障を来すこととなります。社員総会に欠席される場合には、必ず委任状をご提出されますよう、重ねてお願い申し上げます。

また、お近くの会員の方に、社員総会へのご参加または委任状の提出をお勧めくださいますよう、よろしくごお願い申し上げます。

2018年4月
一般社団法人日本毒性学会
理事長 永沼 章

日本毒性学会教育委員会からのお知らせ（第3報）

教育委員会の各種事業は下記の要領で実施する予定です。詳細は決まり次第、学会ホームページおよび毒性学ニュースでお知らせします。

なお、学会主催講習会として、トキシコロジーに関する知識（基礎知識）を幅広く学習する基礎教育講習会とトキシコロジストとしての知識をアップデート・ブラッシュアップする生涯教育講習会を開催いたします。

〔第19回日本毒性学会生涯教育講習会〕

本講習会では、昨年より学習フレームを、①トピックス（SOT報告）、②トキシコロジスト・ブラッシュアップセミナーとして実施しております。本年も同様のフレームで開催を予定しておりますので、積極的なご参加をお待ちしております。

トピックスは、SOTの学術年会時に開催される教育コースから、2つのテーマを選び、新しい科学及び技術に関する最新のトピックスを学習する場としています。トキシコロジスト・ブラッシュアップセミナーでは、各種毒性反応についてメカニズムから最新の話題を含め深く学習する場としています。また、学習テーマに関連する共通知識として「非病理学者のための病理学講義」をセミナーに組み入れています。

本年より講習会資料はダウンロード形式といたします。受講者の皆様には6月下旬にダウンロード方法をご案内いたします。

1. 日時

2018年7月17日（火）

2. 会場

大阪府立国際会議場（グランキューブ）内

3. プログラム

- 1) SOT2018 報告：Continuing Education Course の話題をもとに
 - 1-1 An Introduction to the Basics of Immunotoxicity Testing
10：30～11：15
一ツ町 裕子先生（大鵬薬品工業）

- 1-2 NGS Based Technologies Enable Biomarker Development and Discovery in Toxicology

11：15～12：00

熊本 隆之先生（奥羽大学薬学部）

（昼休憩 12：00～12：50）

- 2) トキシコロジスト・ブラッシュアップセミナー： “肺・呼吸器の毒性変化を考える”

- 2-1 「非病理学者のための病理学講義 –呼吸器の構造と毒性変化–」

12：50～13：50

篠塚 淳子先生（中外製薬・研究本部）

- 2-2 「アスベストと中皮腫（仮）」

13：50～14：40

西村 泰光先生（川崎医大・衛生学）

（休 憩 14：40～14：50）

- 2-3 「ナノマテリアルの毒性：肺毒性を中心として」

14：50～15：40

高橋 祐次先生（NIHS）

- 2-4 「薬剤性肺障害」

15：40～16：30

服部 登先生（広島大学大学院 分子内科学）

4. 参加申込および参加費

- 1) 申込期間

2018年3月1日（木）～5月18日（金）

- 2) 申込方法

当学会ホームページよりお申込下さい。

登録後、5日以内に次項の要領で受講料を納入下さい。

- 3) 納入方法

郵便局に備え付けの振替用紙に受講者氏名、会員番号（会員の方のみ）、所属、をご記入の上、下記振替口座へお振込み下さい。

郵便振替口座番号：00150-9-426831

加入者名：一般社団法人日本毒性学会

ネットバンキングをご利用の方は事務局までメールで受講者氏名、会員番号（会員の方のみ）、所属、振込日、振込金額をご連絡の上、下記銀行口座へお振込み下さい。

銀行：ゆうちょ銀行

支店：〇一九（ゼロイチキユウ）支店

口座番号：当座 0426831

口座名義：一般社団法人日本毒性学会

4) 参加費

会 員	5,000 円
非会員	7,000 円
認定トキシコロジスト	3,000 円

当日申込

会 員	7,000 円
非会員	10,000 円
認定トキシコロジスト	5,000 円

*受講料はお申込みから5日以内にお振込み下さい。

*ご所属名でお振込みの際は、事務局までメールで受講者氏名（会員の方は会員番号）、所属、振込日、振込金額をご連絡下さい。

*領収書につきましては、振込時の振替払込請求書兼受領証にて代えさせていただきます。学会からの領収書が必要な場合は当日振替払込請求書兼受領証と交換いたします。

*準備の都合上、できるだけ事前申込をお願いします。

*キャンセルに伴う返金に関しては、セミナー資料事前送付前に限り、対応します。事務局から資料発送後は納入済み受講料の返金は原則としていたしませんのでご了承下さい。詳細は別途事務局までお問い合わせください。

5. 問合せ先

一般社団法人日本毒性学会 事務局

〒100-0003

東京都千代田区一ツ橋 1-1-1

パレスサイドビル

(株) 毎日学術フォーラム内

TEL. 03-6267-4550 FAX. 03-6267-4555

E-mail: jsotq@jsot.jp

「第21回日本毒性学会基礎教育講習会」

本講習会はトキシコロジストの系統的な基礎教育あるいは再教育を目的としております。集中講義によってトキシコロジー全般にわたる理解を深めたうえで、10月に開催されます第21回日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験受験にお役立て下さい。3日間をかけて18名の先生方に講義していただきます（19ページ参照）。

尚、本講習会を受講されますと認定試験受験資格のための評点40点が付与されます。また、認定トキシコロジスト資格更新の際の評点獲得の対象にもなります。

受講を希望される方は、下記の受講申込方法でお申込み下さい。受講料入金の確認後、追って受講案内及び資料をお送りします（7月下旬頃）。

1. 日 時

2018年8月6日（月）～8日（水）

2. 会 場

星薬科大学 新星館 202/203

3. 募集人数

150名（先着順）

4. テキスト

トキシコロジー（第3版）（朝倉書店、2018年3月刊）の内容を中心に講義を行う予定です。

5. 受講申込および受講料

1) 申込期間

2018年5月7日（月）～7月6日（金）

2) 申込方法

日本毒性学会ホームページよりお申込み下さい。登録後、5日以内に次項の要領で受講料を納入下さい。

3) 納入方法

郵便局に備え付けの振替用紙に受講者氏名、会員番号（会員の方のみ）、所属、をご記入の上、下記振替口座へお振込み下さい。

郵便振替口座番号：00150-9-426831

加入者名：一般社団法人日本毒性学会

ネットバンキングをご利用の方は事務局までメールで受講者氏名、会員番号（会員の方のみ）、

所属, 振込日, 振込金額をご連絡の上, 下記銀行口座へお振込み下さい。

銀行：ゆうちょ銀行
支店：〇一九（ゼロイチキョウ）支店
口座番号：当座 0426831
口座名義：一般社団法人日本毒性学会

- 4) 受講料
- | | |
|------------|-------------------|
| 一般会員 | 25,000 円 |
| 学生会員 | 5,000 円 |
| 非会員 | 30,000 円 |
| 学生非会員 | 8,000 円 |
| 認定トキシコロジスト | 20,000 円 (2～3日受講) |
| | 10,000 円 (1日受講) |

- *交流会 (1日目開催) の費用は受講料に含まれます。
- *受講料はお申込みから 5 日以内にお振込み下さい。
- *ご所属名でお振込みの際は, 事務局までメールで受講者氏名 (会員の方は会員番号), 所属, 振込日, 振込金額をご連絡下さい。
- *領収書は, 振込時の振替払込請求書兼受領証に代えさせていただきます。学会からの領収書が必要な場合は当日振替払込請求書兼受領証と交換いたします。
- *会場に余裕がある場合に限り当日参加を受け付けますが, できるだけ事前申込をお願いします。
- *キャンセルに伴う返金に関しては, 講習会資料事前送付前に限り, 対応します。事務局から資料発送後は納入済み受講料の返金は原則としていたしませんのでご了承下さい。

- 5) その他
昼食は各自ご用意下さい。講義室内での飲食は可能です。

6. その他

受講修了者には受講証明書を発行します。また, 学生受講者 (大学院生を含む) は出欠を確認したうえで受講認定証を発行いたします。

「第 21 回日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験」

我が国の安全性試験の信頼性向上とトキシコロジーの進歩に寄与するため, 質の高い専門家を認定するための試験です。受験資格の詳細については, 毒性学ニュース, 学会ホームページの『一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定制度規程』をご覧ください。

昨年より, 英語受験が可能です。英語受験を希望する場合は, 願書の英語受験希望欄にチェックを入れてください。

また本年より, 試験の開始・終了時間が 30 分遅くなりますので, ご注意ください。

1. 日 時

2018 年 10 月 14 日 (日)

※変更になりました

2. 会 場

昭和大学 旗の台キャンパス 4 号館 6 階 600 号教室

3. 出願期間

2018 年 7 月 2 日 (月) ~ 8 月 17 日 (金) (必着)

4. 出願書類

- 1) 願書と受験者確認票
- 2) 写真 2 枚 (縦 3.5cm × 横 3cm) ※ 6 ヶ月以内 (願書と受験者確認票の所定欄に貼付)
- 3) 認定試験受験資格のための評点表および証明資料

出願時には次のことにご注意下さい。

- ・会員歴：出願時に JSOT の会員であること
- ・研究歴

詳細は「一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定制度規程」をご覧ください。出願書類は記録の残るもの (書留, 信書便等) でお送り下さい。

出願書類フォームは, 学会ホームページおよび次号 Vol. 43, No. 3 (6 月号) に掲載する予定です。

5. 受験料

30,000 円 (下記の郵便振替口座にお振込の上, 払込票のコピーを出願書類に同封下さい)

郵便振替口座番号：00150-9-426831

加入者名：一般社団法人日本毒性学会

(通信欄に会員番号を明記下さい)

6. 出願書類送付先・問合せ先

一般社団法人日本毒性学会 事務局
 認定試験小委員会
 〒100-0003
 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1
 パレスサイドビル
 (株)毎日学術フォーラム内
 TEL. 03-6267-4550 FAX. 03-6267-4555
 E-mail: jsothq@jsot.jp

「認定トキシコロジスト資格の更新」

2003年、2008年、2013年に認定トキシコロジストに認定された方(認定トキシコロジスト No. 7, 12, 100 ~ 148, 234 ~ 261, 398 ~ 415, 530 ~ 552)は2018年が資格更新の時期となります。更新手続きの詳細は、対象者宛に2018年7月頃に郵送いたしますのでご確認ください。また、例年1~2月に認定トキシコロジスト試験問題の作成依頼につきましては、すでにご連絡しておりますように、6月にお送り致します。可能な限り、3月発刊の「トキシコロジー(第3版)」からの出題をお願いいたします。毒性学ニュース、学会ホームページの『一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定資格更新に関する細則』をご覧ください。

「日本毒性学会認定トキシコロジスト総会」

7月に大阪府立国際会議場で開催予定の第45回日本毒性学会学術年會会期中に、認定トキシコロジストを対象とした認定トキシコロジスト総会を企画しております。総会には多くの先生方が参加されますので、今後の毒性学の方向性、研究等様々な意見交換の場として有効利用していただければと考えております。老若男女問わず認定トキシコロジストの先生方の積極的なご参加をお待ちしております。

1. 日 時

2018年7月18日(水)
 18:30 ~ 20:30 (18:00より受付開始)

2. 会 場

大阪国際会議場(グランキューブ大阪)
 12階 レストラン「グラントック」
<http://www.gco.co.jp/>

3. 式次第

- 1) 認定トキシコロジスト総会
- 2) 新規名誉トキシコロジスト表彰式
- 3) 認定トキシコロジスト懇親会

4. 会 費

認定トキシコロジスト:事前3,000円(当日4,000円)
 名誉トキシコロジスト:事前3,000円(当日4,000円)
 2018年度新規名誉トキシコロジスト:無料
 (該当の方には別途ご案内させていただきます)

参加者数により、当日入場を制限させていただくことがございます。事前申込にご協力よろしくお願いたします。

事前申込期間:2018年4月2日(月)
 ~6月15日(金)

5. 申込方法

参加希望の方は日本毒性学会事務局(jsothq@jsot.jp)まで電子メールにてお申込み(お名前、日本毒性学会会員番号、認定トキシコロジスト総会参加旨記載)の上、下記振込先までお振込みをお願いいたします。

郵便局に備え付けの郵便振替用紙をご利用いただくか、インターネットバンキング等をご利用ください。インターネットバンキングにてお振込みの際には、振込人名義を会員番号、フルネーム(個人名)、「DJSOT ソウカイサンカヒ」と記載願います。

例:99999 ドクセイ タロウ DJSOT ソウカイサンカヒ

振込先

〈振替用紙・ゆうちょ銀行から〉
 郵便振替口座:00150-9-426831
 加入者名 :一般社団法人日本毒性学会

〈他行から〉

銀行名 :ゆうちょ銀行
 金融機関コード:9900
 店番 :019
 預金種目 :当座
 店名 :〇一九店(ゼロイチキュー店)
 口座番号 :0426831

第21回日本毒性学会基礎教育講習会日程

月 日	#	時 間	学 科 目
8月6日(月)		09:00 - 09:10	オリエンテーション
	1-1 (1:30)	09:10 - 10:40	毒性学および毒性試験法の概念・実験動物
	1-2 (1:30)	10:50 - 12:20	毒性発現機序
	1-3 (2:00)	13:20 - 15:20	動態・代謝
	1-4 (1:30)	15:30 - 17:00	血液毒性, 免疫毒性
			17:15 - 19:15
8月7日(火)	2-1 (1:30)	09:00 - 10:30	消化器毒性, 肝毒性
	2-2 (1:00)	10:40 - 11:40	腎・泌尿器毒性
	2-3 (1:00)	11:50 - 12:50	呼吸器毒性
	2-4 (1:00)	13:35 - 14:35	神経行動毒性, 運動器毒性, 感覚器毒性
	2-5 (1:00)	14:45 - 15:45	循環器毒性, 安全性薬理
	2-6 (1:00)	15:55 - 16:55	皮膚・粘膜毒性, 光毒性, 代替試験法
	2-7 (1:00)	17:05 - 18:05	生殖発生毒性, 生殖器毒性, 内分泌毒性
8月8日(水)	3-1 (1:00)	09:00 - 10:00	遺伝毒性
	3-2 (1:00)	10:10 - 11:10	発がん性
	3-3 (1:00)	11:20 - 12:20	環境毒性
	3-4 (1:00)	13:05 - 14:05	毒性オミクス
	3-5 (1:00)	14:15 - 15:15	リスクアセスメント・リスクマネージメント
	3-6 (0:40)	15:25 - 16:05	臨床中毒学
	3-7 (1:00)	16:15 - 17:15	統計学
			17:20
資料のみ			化学物質の有害作用, 安全性評価・管理

第45回日本毒性学会学術年会のご案内（第5報）

（年会ホームページ：<http://jsot2018.jp/>）

1. 会 期
2018年（平成30年）7月18日（水）～20日（金）
2. 会 場
大阪国際会議場（グランキューブ大阪）
〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51
TEL：06-4803-5585
URL：<http://www.gco.co.jp/>
3. テーマ
インタラクティブ
毒性研究とリアルワールドへの応用
4. 年会長
務台 衛（田辺三菱製薬株式会社）
5. 企画委員（敬称略・五十音順）
石塚真由美（北海道大学）
小川久美子（国立医薬品食品衛生研究所）
小野寺博志（医薬品医療機器総合機構）
鍛冶 利幸（東京理科大学）
菅野 純（日本バイオアッセイ研究センター）
北嶋 聡（国立医薬品食品衛生研究所）
熊谷 嘉人（筑波大学）
黒川 洵子（静岡県立大学）
佐藤 雅彦（愛知学院大学）
渋谷 淳（東京農工大学）
鈴木 睦（協和発酵キリン株式会社）
高崎 涉（第一三共株式会社）
田保 充康（中外製薬株式会社）
苗代 一郎（医薬品医療機器総合機構）
中村 和市（北里大学）
橋爪 孝典（大阪大谷大学）
姫野誠一郎（徳島文理大学）
広瀬 明彦（国立医薬品食品衛生研究所）
福井 英夫（Axcelead 株式会社）
福島 民雄（塩野義製薬株式会社）
福本真理子（北里大学）
古川 賢（日産化学工業株式会社）
堀井 郁夫（ファイザー、昭和大学）
堀本 政夫（千葉科学大学）
本間 正充（国立医薬品食品衛生研究所）
山田 久陽（大正製薬株式会社）
横井 毅（名古屋大学）
吉成 浩一（静岡県立大学）
和久井 信（麻布大学）
渡部 一人（中外製薬株式会社）
6. 特別企画（予定、敬称略、仮題、順不同）
 - 1) 第16回市民公開セミナー
テーマ：生活の中の科学：ベネフィットとリスクを正しく理解する
日 時：2018年7月21日（土）
午前10：30～12：30
場 所：YMC A国際文化センター
 - 2) 年会長招待講演
「ナノマテリアル特にカーボンナノチューブによる肺・胸膜中皮障害と発がん性の経気管肺内噴霧投与（TIPS）試験法の開発」
津田 洋幸
（名古屋市立大学）
 - 3) 特別講演
 - (1) 木村 郁夫
（東京農工大学大学院農学研究院 応用生命化学専攻）
 - (2) Timothy MacLachlan
（Novartis Institutes for BioMedical Research, USA）
 - (3) 山田 拓司
（東京工業大学 生命理工学院）
 - (4) John Burkhardt
（Drug Safety R&D, Pfizer, USA）
 - (5) 熊谷 嘉人
（筑波大学医学医療系 環境生物学分野）
 - (6) 谷口 英樹
（横浜市立大学大学院医学研究科 臓器再生医学）
 - (7) 日本中毒学会合同企画：記念講演
杉田 学
（順天堂大学医学部附属練馬病院 救急・集中治療科）
 - 4) 教育講演
 - (1) 樽林 陽一
（神戸大学 学術・産業イノベーション創造本部）
 - (2) Saryu Goel
（Office of Generic Drugs, US Food & Drug Administration, USA）
 - (3) 田中 利男
（三重大学大学院医学系研究科 システムズ薬理学）
小島 肇
（国立医薬品食品衛生研究所 安全性予測評価部）
 - 5) シンポジウム（22セッション）
 - ・酸化／親電子ストレスの制御を担う活性イオウ分子の功罪
 - ・子どもへの低用量化学物質暴露が誘発する情動

認知行動影響とその評価系の開発

- ・適応拡大する毒性オミクス
- ・エビジェネティック毒性研究の新展開
 - 安全性評価に向けた分子・個体レベル研究を踏まえた総合討論–
- ・化学物質と腸内細菌の新たな関係
- ・ヒト医薬品環境影響評価の新展開
- ・非低分子医薬品の安全性評価戦略について
- ・ヒト間葉系幹細胞の将来研究
- ・実用化に呼応したナノマテリアルの有害性評価の進捗
- ・精巢毒性の現状と展望
- ・動き始めた遺伝毒性評価の新たな潮流
- ・医薬品の生殖発生毒性試験についての ICH S5 ガイドライン改定
- ・CDISC を活用した非臨床安全性評価
- ・リスクアセスメント過去・現在・未来 これまで30年の歩みとこれから10年の歩み
- ・創薬・代替法における in vitro 試験の新たな始動
- ・in silico 研究への期待と問題点 (Big Data, AOP, Systems Toxicology から AI/Ontology へ)
- ・コリン作動性の中枢・末梢神経毒性の基礎と臨床 (日本中毒学会合同シンポジウム)
- ・ドーピングの中毒学・毒性学 (日本中毒学会合同シンポジウム)
- ・毒性病理学会からのトピック –レギュラトリーサイエンス– (日本毒性病理学会合同シンポジウム)
- ・毒性発現と性差 (日本薬理学会合同シンポジウム)
- ・システム・ワクシノロジーによる有効性と安全性の考察 (米国毒性学会合同シンポジウム)
- ・次世代研究セミナー：イメージングと毒性の融合

6) ワークショップ (9セッション)

- ・再生医療製品等における安全性評価～造腫瘍性試験を中心として
- ・非げっ歯類のゲノムと副作用予測への応用
- ・腎毒性の評価手法の進展と課題
- ・IMS (Imaging Mass Spectrometry) の毒性評価への応用
- ・感作性代替法の現状と展望
- ・非臨床安全性試験におけるマイクロサンプリングの課題と展望
- ・医薬品の心臓安全性評価に関する最新動向と将来展望
- ・網膜・視神経毒性：臨床中毒学と非臨床毒性学の融合
- ・医療機器の生物学的安全性試験評価方法に関する話題提供

7) トキシコロジストのキャリア形成支援プログラム：国際化への対応

7. 一般演題

- 1) 一般演題は口演またはポスター発表とします。口演発表につきましては、発表と討論の時間を合わせて10～15分程度を予定しています。詳細は、演題申込数を考慮の上、決まり次第発表者へE-mailにてお知らせいたします。発表方法はPCプレゼンテーション(プロジェクター1面映写)のみです。ポスター発表は、毎日貼替えでポスター展示を行い、展示時間内に質疑応答の時間を設けます。
- 2) 優秀研究発表賞
2018年3月31日時点で35歳以下のポスター発表(筆頭著者)の方を対象とします。応募者はポスター発表に加え、別会場で口頭発表と質疑応答を第1日目(7月18日(水))に行っていただきます。受賞者の発表は、第2日目(7月19日(木))に行い、授賞式は、第3日目(7月20日(金))に年会会場で行います。受賞者には、賞状と副賞を授与します。
- 3) 学生ポスター発表賞
学術年会(2018年7月18日(水))の時点で学生(大学院生を含む、ただし社会人大学院生は除く)のポスター発表(筆頭著者)の方を対象とします。審査はポスター発表内容のみで行います。対象のポスターは第1日目(7月18日(水))に掲示し、受賞者の発表は、第2日目(7月19日(木))に行います。授賞式は、同日の懇親会場で行う予定です。受賞者には、賞状と副賞を授与します。

8. 参加登録および参加費

事前参加申込締切日：
2018年5月15日(火)

- 1) 参加費
※ 学会会員の参加費は「不課税」、関連学会会員、非会員の参加費と懇親会費は「課税(消費税込)」となります。

	事前登録	当日受付
会 員	11,000 円	13,000 円
学生会員	3,000 円	4,000 円
* 関連学会会員	12,000 円	14,000 円
非 会 員	14,000 円	16,000 円
懇親会 (一般)	9,000 円	11,000 円
懇親会 (学生)	4,000 円	5,000 円

* は次の学会会員の方です。(50音順)
共催：日本中毒学会
日本毒性病理学会

日本免疫毒性学会
日本薬理学会
米国 SOT (Society of Toxicology)

協賛：日本安全性薬理研究会

日本医薬品情報学会
日本衛生学会
日本環境変異原学会
日本産業衛生学会
日本実験動物学会
日本獣医学会
日本先天異常学会
日本動物実験代替法学会
環境ホルモン学会(日本内分泌攪乱化学物質学会)
日本薬学会
日本薬物動態学会
比較眼科学会

2) お支払い方法

- ・クレジットカード
- ・コンビニエンスストア

※決済等の詳細については、年会ホームページ
をご確認下さい。

9. 懇親会

次の通り懇親会を開催いたしますので、是非ご参加下さい。

日時：2018年7月19日(木) 午後6:30より(予定)

会場：リーガロイヤルホテル大阪

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5丁目3-68

TEL：06-6448-1121

URL：https://www.rihga.co.jp/osaka

10. 展示・ランチョンセミナー等の募集

ランチョンセミナースポンサー、広告掲載、展示
出展を募集しております。詳細はホームページ
(<http://jsot2018.jp/contents/company.html>) に
掲載しておりますのでご覧下さい。

11. 年会事務局

〒335-8505 埼玉県戸田市川岸 2-2-50
田辺三菱製薬株式会社 創薬本部安全性研究所
事務局長：大山 直樹
事務局次長：久米 英介, 田中 雅治
TEL：048-433-2770 FAX：048-433-8790
E-mail：secretariat@jsot2018.jp

12. 同時期開催

第40回日本中毒学会総会・学術集会
2018年7月20日(金)～7月21日(土)
大阪国際会議場(グランキューブ大阪)
第45回日本毒性学会学術年会の参加証で聴講で
きます。

第40回日本中毒学会総会・学術集会開催のご案内

会 期 2018年7月20日（金）～21日（土）
会 場 グランキューブ大阪（大阪府立国際会議場、
 大阪市北区中之島5丁目3-51）
会 長 嶋津 岳士（大阪大学医学部附属病院 高度
 救命救急センター）
副会長 遠藤 容子（公益財団法人日本中毒情報セン
 ター 大阪中毒110番）

web サイト <http://www2.convention.co.jp/40jsct/>

テーマ Toxicology for all -中毒を考えよう-

学会企画（予定）

- ・ 招聘講演
 Dr. Daniel E Brooks MD
 (Department of Medical Toxicology, Banner
 University Medical Center, Phoenix)
 「Medical Toxicology as a Subspecialty in Japan(仮題)」
- ・ 特別企画1
 「40回を記念して(仮題)」
- ・ 特別企画2
 濱田 昌彦（重松製作所、元 陸上自衛隊）
 「Toxicology for all～安全な社会を守るために、
 海外から学ぶ～(仮題)」
- ・ 教育講演
 中村 勝美（環境省、元 陸上自衛隊）
 「新たな脅威となっている化学物質(仮題)」
- ・ シンポジウム
 「TOKYO2020に向けて(仮題)」
- ・ パネルディスカッション
 「中毒診療におけるモニタリングと全身管理(仮題)」
 「中毒情報センターの役割を考える」
 「臨床検査と薬毒物分析(仮題)」
- ・ 急性中毒標準治療ワークショップ
- ・ 分析委員会ハンズオンセミナー, Toxicology for all
 セミナー, クリニカルトキシコロジスト認定/更新
 セミナーおよび認定試験, 共催セミナー
- ・ 委員会報告
- ・ 一般演題（口演, ポスター）
- ・ フォトコンテスト, 市民公開講座
- ・ 機器展示, 書籍販売, その他

演題募集期間

2018年1月16日（火）～3月20日（火）

フォトコンテスト応募期間

2018年2月7日（水）～6月15日（金）

日本毒性学会学術年会との同時開催

2018年7月18日（水）～20日（金）に同会場で、
 第45回日本毒性学会学術年会が開催されます。そ
 れぞれの会員は所属学会の参加登録のみで、7月
 18日～21日のすべての演題を聴講できます。

*日本毒性学会（JSOT）・日本中毒学会（JSCT） 連携合同企画

2018年7月18日（水）

- ・ JSOT・JSCT 合同シンポジウム
 「コリン作動性の中枢・末梢神経毒性の基礎と臨床」
 座長：吉田 武美（JSOT）
 福本 真理子（JSCT）

2018年7月20日（金）

- ・ JSOT・JSCT 連携記念式典・記念講演会
 「急性中毒の標準治療はどうあるべきか」
 演者：杉田 学（JSCT）
 座長：菅野 純（JSOT）
 福本 真理子（JSCT）
- ・ JSOT・JSCT 合同シンポジウム
 「ドーピングの中毒学・毒性学」
 座長：北嶋 聡（JSOT）
 杉田 学（JSCT）

第40回日本中毒学会総会・学術集会事務局

事務局長
 大西 光雄
 （大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター）

副事務局長
 波多野 弥生
 （公益財団法人日本中毒情報センター 大阪中毒110番）

学術集会に関するお問い合わせ先

第40回日本中毒学会総会・学術集会 運営準備室
 日本コンベンションサービス株式会社 内
 担当：大谷 有希子
 松野木 勇樹
 梅田 恭央
 TEL：06-6221-5933 FAX：06-6221-5938
 E-mail: 40jsct@convention.co.jp

第 45 回日本毒性学会学術年会と第 40 回日本中毒学会学術集会 の同時開催について

日本毒性学会会員各位・日本中毒学会会員各位

梅花の候、皆様におかれましてはご清勝のこととお喜び申し上げます。

さて、2014年に「毒性学のさらなる発展を果たすために、また、両者の活動を通じて社会貢献を果たすために、共通及び相補的な学術活動について幅広く継続的な協力関係を構築する」ことを目的とした覚書を交わし、以来、相互に学術年会・学術集会において共同企画の開催を積み重ねてまいりましたが、この度、第45回日本毒性学会と第40回日本中毒学会を大阪国際会議場において、同時開催する運びとなりました。

両学会員はどちらかの参加証で両方の学会に参加して頂けます。

連携事業といたしまして、

- 7月18日 13:30～16:00 (JSOT 学術年会第1会場)
合同シンポジウム 脳毒性の現状と課題
- 7月20日 9:20～10:20 (同第2会場)
日本中毒学会合同企画：両学会連携の経緯と今後の展望
経緯説明：菅野 純・福本真理子 (両学会・連携小委員会委員長)
挨拶と記念署名：JSOT 永沼 章・務台 衛
JSCT 須崎紳一郎・嶋津岳士 (両学会・理事長・年会長)
記念講演：「急性中毒の標準治療はどうあるべきか (45分)」
杉田 学 (日本中毒学会理事/順天堂大学医学部附属練馬病院)
- 7月20日 10:30～12:00 (JSCT 学術集会第1会場)
日本中毒学会合同シンポジウム：ドーピングの中毒学・毒性学

を企画いたしました。

また、両学会の参加者の皆様に相互のプログラムを確認いただけるように、学術年会・学術集会 HP において、互いのプログラムにアクセスできるよう準備する予定です。

皆様ふるって、日本中毒学会の方にもご参加いただき、交流を深めていただけると有難く存じます。

日本毒性学会・連携小委員会
日本中毒学会・連携委員会

第 44 回日本毒性学会学術年会要旨集の販売について

第 44 回日本毒性学会学術年会の要旨集を 1 部 3,500 円（税・送料込）で販売します。ご希望の方は郵便局に備付けの郵便振替用紙に必要事項をご記入の上、下記口座までお振り込み下さい。ご納入確認後、要旨集を発送致します。

なお、学術年会（第 32 回以降）の要旨はオンライン（J-STAGE）でも閲覧が可能です（<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/toxp/-char/ja>）。

振込先：口座番号	00150-9-426831
加入者名	一般社団法人日本毒性学会
要旨集価格	3,500 円（1 部）

通信欄記入事項：①住所 ②氏名（団体の場合は機関名・部署等）③電話番号
④第 44 回学術年会要旨集希望の旨

※通信欄のご記入住所へ送本致します。詳細なご記入をお願い致します。

問い合わせ先：日本毒性学会事務局
〒 100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1
パレスサイドビル
株式会社毎日学術フォーラム内
TEL：03-6267-4550 FAX：03-6267-4555
E-mail：jsothq@jsot.jp

その他のお知らせ

第25回HAB研究機構学術年会 「人体模倣システムを用いた創薬研究基盤技術の新基軸」

学術年会長 田端 健司 (アステラス製薬株式会社)
 日時 2018年5月24日(木)～26日(土)
 9:00～18:00
 会場 産業技術総合研究所 つくばセンター 共用講堂
 主催 特定非営利活動法人 HAB 研究機構
 (<http://www/hab.or.jp>)
 後援 日本毒性学会

招待講演 I

ヒト ES/iPS 細胞を用いた迅速で正確な毒性試験の実現に向けて
 藤渕 航 (京都大学 iPS 細胞研究所)

招待講演 II

残余組織検体からの癌および正常細胞培養技術とインフラ整備
 井上 正宏 (大阪国際がんセンター研究所)

招待講演 III

ウェット in-vivo シミュレーターとしての MPS (Micro Physiological System) への期待
 金森 敏幸 (産業技術総合研究所)

招待講演 IV

Towards the Virtual Patient. Developing Predictive Models for CNS Drug Discovery and Development with Quantitative Systems Pharmacology
 Dr. Hugo Geerts (In Silico Biosciences, Inc.)

シンポジウム I

ヒト由来細胞を用いた薬物動態・安全性評価の最前線
 石田 誠一 (国立医薬品食品衛生研究所)
 鈴木 郁郎 (東北工業大学大学院)
 内藤 篤彦 (東邦大学医学部)
 高里 実 (理化学研究所)

シンポジウム II

The cell engineering: iPS 由来細胞からオーガノイドまで
 水口 裕之 (大阪大学大学院)
 大林 徹也 (鳥取大学生命機能研究支援センター)
 手塚 和宏 (アステラス製薬株式会社)
 池谷 真 (京都大学 iPS 細胞研究所)

シンポジウム III

細胞工学手法を用いた細胞培養システムの進展
 小島 伸彦 (横浜市立大学大学院)
 井出いづみ (株式会社サイフューズ)
 竹内 昌治 (東京大学生産技術研究所)
 佐藤 記一 (群馬大学大学院)

シンポジウム IV

システムズモデリングによる定量的ヒト予測の最先端
 清澤 直樹 (第一三共株式会社)
 黒田 真也 (東京大学大学院)
 大石 昌代 (ファイザー株式会社)
 佐山 裕行 (アステラス製薬株式会社)

■第32回市民公開シンポジウム 婦人科がんの話題

佐藤 豊実 (筑波大学産科婦人科)
 志鎌あゆみ (筑波大学産科婦人科)
 池上 正晃 (中外製薬株式会社)

■ランチョンプレゼンテーション

年会1日目の昼食時に、ランチョンセミナーを開催いたします。是非皆様ご参加ください。

■ランチョンプレゼンテーション

年会2日目の昼食時に、細胞アッセイ研究会と合同でランチョンプレゼンテーションを開催いたします。培養・アッセイ装置の創意工夫からモデリングまで多種多様の演題を通して、活発な交流を図ります。多くの皆様方のご参加をお待ちしております。

※詳細はホームページ (<http://www/hab.or.jp>) にてご確認ください。

一般社団法人日本毒性学会の定款および規程類について

日本毒性学会の定款および規程類については、最新版が学会ホームページ (http://www.jsot.jp/about/rule_list.html) に掲載されています。

この度、Journal of Toxicological Sciences (JTS) のオンライン公開へ移行（冊子体の原則廃止）に伴い、「J. Toxicol. Sci. 投稿規程」と「入会規程」が改定されました。また、賛助会員の獲得推進のために、「賛助会員に関する規程」が改定されました。

改定された J. Toxicol. Sci. 投稿規程については、オンライン化に伴う JTS ホームページの改修が整い次第、公開し適用される予定です。

その他の規程類については、は学会ホームページをご確認ください。

- 一般社団法人日本毒性学会 定款
- 一般社団法人日本毒性学会 評議員選出規程
- 一般社団法人日本毒性学会 理事・監事選出規程
- 一般社団法人日本毒性学会 理事および監事候補の選出に関する細則
- 一般社団法人日本毒性学会 常置委員会共通規程
- 一般社団法人日本毒性学会 名誉会員・功労会員推薦規程
- 一般社団法人日本毒性学会 特別賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 学会賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 奨励賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 技術賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 田邊賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 ファイザー賞選考規程
- 一般社団法人日化協 LRI 賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 入会規程
- 一般社団法人日本毒性学会 賛助会員に関する規程
- 一般社団法人日本毒性学会 認定トキシコロジストの認定制度規程
- 一般社団法人日本毒性学会 認定トキシコロジストの資格更新に関する細則
- 一般社団法人日本毒性学会 名誉トキシコロジスト表彰に関する細則
- 米国毒性学会教育コースへの学会員派遣に関する規程
- J. Toxicol. Sci. 投稿規程
- Fundam.Toxicol.Sci. 投稿規程
- 一般社団法人日本毒性学会 動物実験に関する指針
- 一般社団法人 日本毒性学会 個人情報の適正な管理・利用等に関する基本方針

マイクロバイオーム研究の 受託業務



マイクロバイオームを持たない無菌動物、単離菌または複数の既知の菌株を定着させたノトバイオート動物や細菌叢を定着させた動物を一定期間飼育環境を維持するためにはビニールアイソレータ(VI)を使用することが最適です。当社では長年の経験で得た無菌動物生産技術をもとにマイクロバイオームの研究支援を行ないます。

● 無菌動物

無菌マウスを常時生産しております。

MCH(ICR) [Gf]・C57BL/6N [Gf]
BALB/cA [Gf]・IQI [Gf]

● ノトバイオート作製

無菌マウスに単独あるいは複数の腸内細菌を移植します。必要に応じて定着を確認します。疾患モデルマウスの腸内細菌や、ヒト糞便の移植も可能です。また、お手持ちの遺伝子改変マウスを無菌化した後、特定の腸内細菌を移植し管理することも可能です。

● ノトバイオート化マウスを使った受託試験

シングルノトバイオートマウスや、ヒト糞便移植叢を移植したマウスを使った試験を受託致します。各種データ採取についても、お問合せください。実施場所は、川崎市または富士宮市の当社施設(実験室を併設)を使用します。

※ヒト糞便移植実験は、川崎施設を利用。

● 研究を支える動物管理技術

In Vivoマイクロバイオーム研究では、微生物学的制御が可能なビニールアイソレータ(VI)を使用します。これはヒトから動物への感染の防御とともに、移植された細菌からのヒトへの防御にもつながります。また、長期に亘る腸内細菌叢の維持が可能です。

オプション

- 糞便のT-RFLP解析による腸内細菌叢解析、菌叢比較解析、有機酸分析、腐敗産物分析、アンモニア分析、ph、微生物定量分析(リアルタイムPCR法)
- 移植細菌の定着確認(PCR)
- 血液生化学データ、病理組織作成、採材
- 薬物の経時的投与、定期糞便採取
- Tg、KOマウスの無菌化
- ヒト糞便移植
- 特殊飼料給餌試験

※移植細菌(叢)は研究者側にてご用意ください。

 **日本クリア株式会社**

<http://www.CLEA-Japan.com>

受注センター TEL.03-5704-7123 FAX.03-3792-2368

東京AD部 TEL.03-5704-7050 FAX.03-3792-2032
大阪AD部 TEL.06-4861-7101 FAX.06-4861-7108

仙台出張所 TEL.022-352-4417 FAX.022-352-4419
札幌出張所 TEL.011-631-2725 FAX.011-644-9209

医薬品開発をトータルにサポート

基礎検討試験

前臨床試験

臨床試験

薬物動態試験

- High Quality -

高品質なデータの提供

- Globalization -

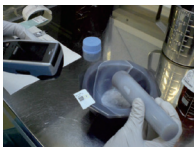
グローバルな事業展開

- Prompt Response -

迅速なサービスの提供

充実した支援体制

- AAALAC International（国際実験動物ケア評価認証協会）認証
- FDA IND/NDA電子化申請対応（CDISC SEND）
- バーコードによるミス防止システム
- 世界中どこからでも閲覧可能



Leica Aperio AT2



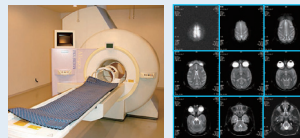
カニクイザル眼球HE染色

最新機種の導入

- Erenna Immunoassay System(EMD Millipore)



- MRI



Siemens Allegra 3.0T

カニクイザル頭部 (T2WI)

- qPCR



ABI 7500 Fast

お問い合わせ先

株式会社新日本科学

<https://www.snbl.co.jp/>

Email: info@snbl.co.jp

TEL: 03-5565-6140





The hepatic stem cell line

HepaRG®・初代肝細胞



- HepaRG®凍結バイアル
- HepaRG®増殖培養キット
- HepaRG®プレート播種タイプ
- CYP3A4G/7R HepaRG®

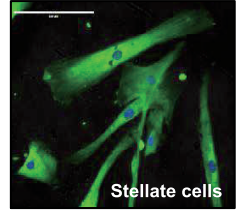
- CYP3A4の発現を緑色蛍光で検出可能

鳥取大学 (WO2014061829A1; 薬物代謝酵素誘導および細胞両性の評価方法、ならびにそのためのベクターおよび細胞) が開発

- ヒト凍結肝細胞
- 接着 / 非接着 / スフェロイド培養用
- アニマル凍結肝細胞
- 動物種: マウス、ラット、イヌ、サル 等

NEW

- ヒト凍結非実質肝細胞、星細胞
- ヒト非凍結肝細胞 (プレート播種タイプ)



受託試験

- 薬物相互作用評価試験

- 肝毒性評価試験
- 腎毒性評価試験



お問い合わせは・・・



株式会社 ケーエーシー
KAC <http://www.kacnet.co.jp/>

試薬営業グループ

TEL:03-5807-7162

e-mail: shiyaku-info@kacnet.co.jp

研究用試薬

SLCの実験動物



マウス

●アウトブリード

- Slc: ddY
- IVCS
- Slc: ICR
- インブリード
- DBA/1JmsSlc(コラーゲン誘導関節炎)
- BALB/cCrSlc
- C57BL/6NCrSlc・C57BL/6JmsSlc
- C3H/HeSlc
- DBA/2CrSlc
- NZW/NSlC
- A/JmsSlc
- AKR/NSlC
- NC/NgaSlc(薬物・アレルギー誘導アトピー性皮膚炎)
- CBA/NSlC
- C3H/HeNSlC
- C3H/HeJYokSlc
- B10コンジュニック
- 129×1/SvJmsSlc
- C57BL/10SnSlc
- B10.A/SgSnSlc・B10.BR/SgSnSlc
- B10.D2/nSnSlc・B10.MBR/Slc
- B10.QBR/SxSlc・B10.S/SgSlc

●ハイブリッド

- B6D2F1/Slc(Slc:BDF1)
- CB6F1/Slc(Slc:CBF1)
- CD2F1/Slc(Slc:CDF1)
- B6C3F1/Slc(Slc:B6C3F1)
- ヌードマウス(ミュータント系)
- BALB/cSlc-*nu*(*Foxn1nu*)
- KSN/Slc(*Foxn1nu*)

●疾患モデル

- BXSB/MpJmsSlc-*Yaa*(自己免疫疾患)
- C3H/HeJmsSlc-*gld*(自己免疫疾患-*Fas*^{gld})
- C3H/HeJmsSlc-*lpr*(自己免疫疾患-*Fas*^{lpr})
- C57BL/6JSlc-*gld*(自己免疫疾患-*Fas*^{gld})
- C57BL/6JmsSlc-*lpr*(自己免疫疾患-*Fas*^{lpr})
- MRL/MpJmsSlc-*lpr*(自己免疫疾患-*Fas*^{lpr})
- NZB/NSlC(自己免疫疾患)

- * NZBWF1/Slc(自己免疫疾患)
- CTS/Shi(免疫不全・白内障)
- * WBB6F1/Kiit-Kiit^{tr}/Kiit^{tr}/Slc(肥満細胞欠損貧血-Kiit^{tr}/Kiit^{tr})
- * WBB6F1/Kiit-Kiit^{tr}/Kiit^{tr}/Slc(肥満細胞欠損貧血-Kiit^{tr}/Kiit^{tr})
- NC/Nga(皮膚炎)
- ☆ Hos:HR-1(ヘアレスマウス)
- ☆ HRM2(メラニン保有ヘアレスマウス)
- SAMR1/TaSlc(非胸腺リンパ腫・SAM系対照動物)
- SAMP1/SkuSlc(老化アミロイド症)
- SAMP6/TaSlc(老年性骨粗鬆症)
- SAMP8/TaSlc(学習・記憶障害)
- SAMP10/TaSlc(脳萎縮を伴う学習・記憶障害)
- AKITA/Slc(糖尿病)
- ☆ TSOD(2型糖尿病)
- C57BL/6JHamSlc-*ob/ob*(肥満・2型糖尿病-*Lepr*^{ob})
- ☆ C57BLKS/Jlar-*Lepr*^{ob}+*Lepr*^{ob}(肥満・2型糖尿病-*Lepr*^{ob})
- ☆ NSY/Hos(2型糖尿病)
- C57BL/6JHamSlc-A^{+/+}(肥満)
- HIGA/NscSlc(IgA腎症)
- C.KOR/StmSlc-*Traf3ip2*^{del}(アトピー性皮膚炎マウス-*Traf3ip2*^{del})
- B6.KOR/StmSlc-*Traf3ip2*^{del}(アトピー性皮膚炎マウス-*Traf3ip2*^{del})
- A.KOR/StmSlc-*Traf3ip2*^{del}(アトピー性皮膚炎マウス-*Traf3ip2*^{del})
- AK.KOR/StmSlc-*Traf3ip2*^{del}(アトピー性皮膚炎マウス-*Traf3ip2*^{del})
- (NZW × BXSB)/F1/Slc(血小板減少性紫斑病)
- C57BL/6HamSlc-*bg/bg*(NK細胞活性低下)

ラット

- アウトブリード
- Slc: SD
- Slc: Wistar
- Slc: Wistar/ST
- Hos: Donryu
- ☆ lar: Wistar(Wistar-Imamichi)
- ☆ lar: Long-Evans
- ☆ lar:Copenhagen(前立腺腫瘍継代)
- インブリード
- F344/NSlC
- WKAH/HkmSlc
- BN/SsNSlC
- DA/Slc(薬物誘導性閉塞)

- LEW/SsNSlC(薬物誘導性閉塞)
- ACI/NSlC
- PVG/SeaSlc

●疾患モデル

- SHR/Izm(高血圧)
- SHRSP/Izm(脳卒中)
- WKY/Izm(SHR/Izmのコントロール)
- SHRSP/Dmcr(NASHモデル)
- DIS/EisSlc(食塩感受性高血圧症)
- DIR/EisSlc(食塩抵抗性)
- DahlS.Z-*Lepr*^{ob}/Slc
- KDP(1型糖尿病-*Cblb*)
- GK/Slc(2型糖尿病)
- WBN/KobSlc(高血糖好発)
- WBN/KobSlc-*fa/fa*(高血糖好発-*Lepr*^{ob})
- SHR/NDmcr-*cp/cp*(肥満・糖尿・高血圧-*Lepr*^{ob})
- SHRSP/IDmcr-*fa/fa*(肥満・高血圧・脳血管障害-*Lepr*^{ob})
- Slc:Zucker-*fa/fa*(肥満・*Lepr*^{ob})
- ☆ Hos:ZFDM-*Lepr*^{ob}(糖尿・肥満)
- HWY/Slc(ヘアレスラット)
- F344/NSlC-*Apc*^{em150v}(大腸癌誘発)
- EHBR/EisSlc(高ビリルビン尿症)
- Gunn/Slc-*jjj*(高ビリルビン血症)
- * NAR/Slc(無アルブミン症)
- SDR(矮小体症ラット)
- Slc:WsRc-Ws/Ws(肥満細胞欠損貧血-c-kit異常-Kiit^{tr})
- * DA/Slc-*bg/bg*(NK細胞機能低下)
- * OM/NSlC(栄養関係・腎障害)
- * FH/HamSlc(脳内セロトニン系の機能不全)

モルモット/ウサギ/ハムスター/スナネズミ

- アウトブリード モルモット
- Slc: Hartley
- Hos: Weiser-Maples(メラニン保有)
- インブリード モルモット
- * Strain2/Slc
- * Strain13/Slc
- アウトブリードウサギ
- Slc: JW/CSK
- Slc: NZW
- * Slc: JWF-NIBS(ヘアレス)

●ハムスター

- Slc: Syrian
- * J2N-k(心筋症モデル)
- * J2N-n(J2N-kのコントロール)

●スナネズミ

- MON/Jms/GbsSlc

無菌動物

F344/NSlC[GF]

遺伝子改変動物

- マウス
- C57BL/6-Tg(CAG-EGFP)(グリーンマウス)
- C57BL/6JmsSlc-Tg(*gpt delta*)
- ヌードマウス
- C57BL/6-BALB/c-*nu/nu*-EGFP(EGFP全身発現ヌードマウス)
- ラット
- SD-Tg(CAG-EGFP)(グリーンラット)
- F344/NSlC-Tg(*gpt delta*)
- Slc:WistarHannover/Rcc-Tg(*gpt delta*)

conventional動物

- ビゲル犬
- ☆国内繁殖生産(一財)動物繁殖研究所)
- カニクイザル
- ☆ベトナム繁殖生産ザル(VANNY)
- ミニブタ
- ☆国内繁殖生産
- (一財)日生研-NPO法人医用ミニブタ研究所)
- マイクロミニブタ
- ☆国内繁殖生産(富士マイクラ)
- フレット
- 国内繁殖生産(中伊豆支所)

*印は受託生産動物、☆印は仕入販売動物です。



日本エス エル シー株式会社
〒431-1103 静岡県浜松市西区湖東町3371-8
TEL(053)486-3178(代) FAX(053)486-3156
<http://www.jslc.co.jp/>

営業専用
TEL

関東エリア (053)486-3155(代)
関西エリア (053)486-3157(代)
九州エリア (0942)41-1656(代)

一般社団法人 日本毒性学会

[名誉会員]

石川 栄世	今道 友則	堀口 俊一	福田 英臣
池田 正之	加藤 隆一	白須 泰彦	黒岩 幸雄
井村 伸正	佐藤 哲男	渡辺 民朗	高橋 道人
榎本 眞	小野寺 威	遠藤 仁	菅野 盛夫
黒川 雄二	鎌滝 哲也	赤堀 文昭	土井 邦雄
長尾 拓	福島 昭治	津田 修治	吉田 武美
堀井 郁夫			

[功労会員]

高仲 正	前川 昭彦	佐藤 温重	安田 峯生
菊池 康基	田中 悟	大沢 基保	今井 清
降矢 強	玄番 宗一	唐木 英明	仮家 公夫
暮部 勝	野村 護	牧 栄二	大野 泰雄
山添 康	上野 光一	三森 国敏	佐神 文郎
遠山 千春			

[賛助会員]

旭化成ファーマ(株)	味の素製薬(株)		
あすか製薬(株)	アステラス製薬(株)		
(株)イナリサーチ	エーザイ(株)		
(株)LSIメディエンス	大塚製薬(株)		
杏林製薬(株)	小野薬品工業(株)		
興和(株)	協和発酵キリン(株)		
塩野義製薬(株)	(株)三和化学研究所		
(公財)食品農薬医薬品安全性評価センター	昭和電工株式会社		
ゼリア新薬工業(株)	(株)新日本科学		
大正製薬(株)	第一三共(株)		
大鵬薬品工業(株)	大日本住友製薬(株)		
田辺三菱製薬(株)	武田薬品工業(株)		
中外製薬(株)	(一財)生物科学安全研究所		
(株)DIMS 医学研究所	帝人ファーマ(株)		
トーアエイヨー(株)	東レ(株)		
(一社)日本化学工業協会	日本新薬(株)		
ファイザー(株)	日本たばこ産業(株)		
Meiji Seika ファルマ(株)	(株)ボゾリサーチセンター		
ライオン(株)	持田製薬(株)		

(五十音順)

[役員] (2016 ~ 2017 年度)

理事長	永沼 幸章	石塚真由美	小川久美子
理事	天野 幸紀	小野寺博志	鍛冶 利幸
	小椋 康光	鈴木 睦	高崎 渉
	佐藤 雅彦	広瀬 明彦	福井 英夫
	中村 和市	務台 衛	山田 久陽
	眞鍋 淳	吉田 緑	和久井 信
	横井 毅		
監事	落合 敏秋	姫野誠一郎	

[学術年会長]

第45回 (2018年) 務台 衛
 第46回 (2019年) 姫野誠一郎
 第47回 (2020年) 広瀬 明彦

[委員会] (2016 ~ 2017 年度)

- 総務委員会
 - 務台 衛 (委員長)
 - 鍛冶 利幸
 - 佐藤 雅彦
 - 広瀬 明彦
 - 菅野 純
 - 小川久美子
 - 山田 久陽
 - 横井 毅 (委員長)
 - 小川久美子
 - 中村 和市
 - 務台 衛 (委員長)
 - (委員非公開)
 - 広瀬 明彦 (委員長)
 - 市原 学
 - 古川 賢
 - 中村 和市
 - 小川久美子
 - 鍛冶 利幸 (委員長)
 - 鍛冶 利幸 (委員長)
 - 永沼 章 (委員長)
 - 永沼 章 (委員長)
 - 鰐淵 英機 (委員長)
 - (副委員長以下非公開)
 - 広瀬 明彦 (委員長)
 - 鈴木 睦
 - 鈴木 睦 (委員長)
 - 五十嵐勝秀
 - 姫野誠一郎
 - 高崎 渉 (委員長)
 - 小野寺博志 (副委員長)
 - 朝倉 省二
 - 古川 賢
 - 古川 賢 (委員長)
 - (副委員長以下非公開)
 - 佐藤 雅彦 (委員長)
 - 吉田 武美 (委員長)
 - (委員非公開)
 - 佐藤 雅彦 (委員長)
 - 斎藤 幸一 (委員長)
 - (委員非公開)
 - 佐藤 雅彦 (委員長)
 - (委員非公開)
 - 熊谷 嘉人 (委員長)
 - (委員非公開)
 - 天野 幸紀 (委員長)
 - 石塚真由美
 - 高橋 祐次
 - 久田 茂 (委員長)
 - 小椋 康光 (副委員長)
 - 伊藤 志保
 - 菅野 純
 - 熊谷 嘉人
- ◆ 連携小委員会
- ◆ 評議員選考小委員会
- ◆ 名誉会員および功労会員選考小委員会
- ◆ 指針値検討小委員会
- 財務委員会
- 編集委員会
 - ◆ JTS 編集委員会
 - ◆ FTS 編集委員会
 - ◆ Executive Editor 小委員会
 - ◆ 田邊賞選考小委員会
- 教育委員会
 - ◆ 生涯教育小委員会
 - ◆ 基礎講習会小委員会
 - ◆ 認定試験小委員会
- 学術広報委員会
 - ◆ 学会賞等選考小委員会
 - ◆ 特別賞等選考小委員会
 - ◆ 技術賞選考小委員会
 - ◆ 望月喜多司記念賞選考小委員会
 - ◆ 日化協 LRI 賞選考小委員会
 - ◆ 学術小委員会
 - ◆ 広報小委員会

●印：常置委員会 ◆印：小委員会

★その他関連の委員会

- IUTOX President
- ASIATOX 担当

2018年 4月1日 印刷

2018年 4月1日 発行

発行人 永沼 章
 編集人 鍛冶 利幸
 発行所 一般社団法人日本毒性学会

学会事務局 〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1

パレスサイドビル

(株)毎日学術フォーラム

一般社団法人日本毒性学会事務局

TEL (03) 6267-4550 FAX (03) 6267-4555

E-mail : jsotq@jsot.jp

振替 00150-9-426831

http://www.jsot.jp

印刷所 株式会社仙台共同印刷

〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町二丁目4-2

TEL (022) 236-7161